

さがみとみなさまをつなぐ情報誌

JAさがみ
咲かそう ひとと地域にその笑顔

さがみ

2025

Vol.369

12月号



想い

感謝があってこそ信頼

特集1:「食品フードサイクル肥料」のすすめ

特集2: ちょっと待って! それって詐欺かも

ニュースフォーカス
金融感謝の集い×旬ナビで
特殊サギ撲滅 他



JAさがみのホーム
ページは



JAさがみのスマホ
アプリは



Instagram
「さがみる」は



※掲載している情報は、各種情勢により変更・中止となることがあります。どうぞご了承ください。

カスケード利用



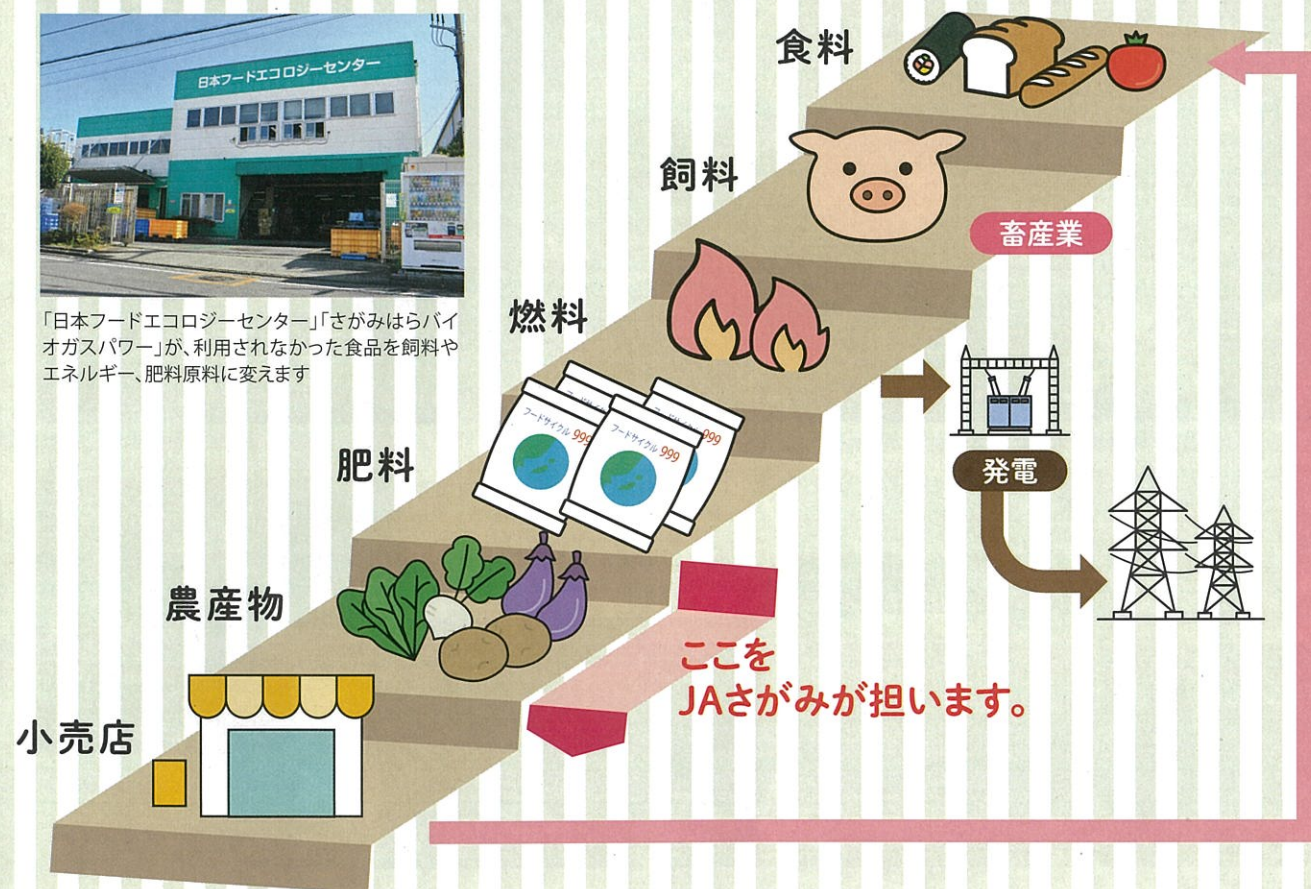
肥料を作る綾瀬市の旭肥料株式会社



「日本フードエコロジーセンター」「さがみはらバイオガスパワー」が、利用されなかった食品を飼料やエネルギー、肥料原料に変えます



利用されなかった食品。安全な、飼料・エネルギー・肥料原料です



段階的につながる食の流れ

この仕組みの中心になるのが「カスケード利用」という考え方です。

カスケード利用とは、資源やエネルギーを段階的に活用していくことです。最初の資源はそれぞれの段階で、エネルギーを取り出し、再び役立つ姿に変わったりします。

今回取り組むのは、食品のカスケード利用です。

ホテルや百貨店などで利用されなかった食品を、相模原市内にある「日本フードエコロジーセンター」に搬入。加工して家畜の飼料にします。飼料化に向かない食品は隣にある「さがみはらバイオガスパワー」に移し、タンクで発酵させます。このとき発生したガスを燃料に発電します。

発酵し終えた消化液（※注）は、肥料原料として活用します。肥料を作るのは綾瀬市内にあるおなじみの旭肥料。肥料成分を調整し、使い勝手の良い形にして、JAさがみを通して販売します。

組合員がこの肥料を使って野菜を作り、消費者に農産物を届ける。これが「食のリサイクル」といわれるゆえんです。

複合的にリサイクル

「食のリサイクル配合肥料」のすすめ

～「食品循環資源のカスケード利用」による肥料化～

肥料は便利で、農業生産向上に役立ちます。しかし、原料の多くは輸入に頼っているのが現状です。一方、わが国では食品廃棄や循環も、解決しなくてはならない課題になっています。

JAさがみでは、県内の企業と連携し、食のリサイクルによる肥料を提案。環境保全と、さがみ農業の足腰の強化に取り組んでいます。



食品由来の肥料を提案します

菌体りん酸肥料で、新しい付加価値を

食料の自給率は、国民の間でも意識が高まり、輸入食品に対する議論が聞かれるようになりました。しかし、肥料原料の輸入までは、まだ理解が深まっていません。

わが国の化学肥料原料のほとんどは、輸入に頼っています（※注1）。輸入相手国も偏っていて、世界情勢、経済状況などの変化で輸入が停滞するおそれがあります。

このような中、肥料原料の国際価格の影響を受けづらい体制を作ることが、課題になっています。国産材料の活用で、日本の農業の足元が固まり、さがみの農業の活性化につながります。

国では、「菌体りん酸肥料」として、下水汚泥などの活用を進めています。JAさがみと旭肥料は、利用されずに廃棄される食品などに注目。「菌体りん酸肥料」の一種として、食料リサイクル由来の肥料の活用を提案します。

この肥料は「フードサイクル999^{スリーナイン}」。化学肥料のように成分が安定（窒素・リン酸・カリ99.9）しています。また、緩効性が高いことが、実験で分かってきました。

肥料原料も国産国消

環境保全型

食のリサイクル配合肥料

フードサイクル999

スリーナイン

チッソ リン酸 カリ

9-9-9

20kg

フードサイクル999

スリーナイン

20kg

正味 20kg

旭肥料株式会社

フードサイクル999は、旭肥料株式会社と、さがみはらバイオガスパワー株式会社との間で共同開発した環境保全型配合肥料です。

環境保全型

食のリサイクルペレット肥料

フードサイクルペレット

チッソ リン酸 カリ

5-5-5

20kg

フードサイクルペレット

20kg

正味 20kg

旭肥料株式会社

フードサイクルペレットは、旭肥料株式会社と、さがみはらバイオガスパワー株式会社との間で共同開発した環境保全型配合肥料です。

フードサイクル999。扱いやすく、いやな臭いもありません。このほかに、散布しやすい「フードサイクルペレット555」(左下)もあります

フードサイクル肥料を使うことが付加価値になる時代が来ています

諸元表

フードサイクル999

チッソ	リン酸	カリ
9	9	9

●特長

- 1 フードサイクル999は、食のリサイクル工場で生産された肥料原料を50%使用した、環境保全型の配合肥料です。
- 2 チッソ源に、速効性の原料を使っていますので、生育初期から中期まで安定的な肥効が期待できます。

●標準施肥例(10aあたり)

葉菜類	8~12袋
根菜類	5~10袋
果菜類	7~10袋

使用に当たっては、注意事項などをよくご覧のうえで利用ください。

こっちを選ぼう



いま、そしてこれから

持続可能とは、こういうこと

農林水産省では、「みどりの食料システム戦略」を策定しています。これは、農業などの生産力向上と持続性の両立を実現しようというものです。有機肥料の割合なども、基準として示されます。今回紹介した「フードサイクル999」は、この戦略にもぴったりです。「フードサイクル999」などの菌体りん酸肥料を使った、栽培体系の確立も進めていきます。

農産物への付加価値、差別化も期待されます。直売所はもちろん、市場出荷でもほかの産地に差をつけるキーワードとして、活用できます。

大きな目で見ても、国内原料の肥料を使うことで、日本の農業が強くなっていきます。国産農産物の評価向上にもつながります。さらには、バイオ液肥などの販売も期待できます。

フードサイクル肥料はすでにJAで販売しています。ご興味のあるかたは、お近くのJAさがみ営農経済センターまたは指導販売課へお気軽にお問い合わせください。

注1 参考資料：「肥料をめぐる情勢」 令和5年5月 農林水産省農産局技術普及課

注2 消化液：メタン発酵の際、バイオガスにならずに残った液体を消化液と呼びます。その中に多くの肥料成分を含んでいます。



ブロッコリーの生育状況を確認する農家、JA、旭肥料の関係者



施肥をする樋口部長

試験する畑に看板を設置し、公開しました



「フードサイクル999」を使って栽培中のブロッコリー

実証試験もしています

結果も出さなくては

どんなに素晴らしい理念の下でも、実効性がなければ使えません。そこで、JAさがみでは、各地区の農家の協力を得て実証試験に取り組んでいます。

今年1月には、寒川町の農家でコマツナを使った比較栽培試験をしました。「フードサイクル999」を施肥した試験区は、「茎がしっかりとっていて、葉に厚みのあるコマツナが収穫できた」と、高評価を得られました。

この秋は、綾瀬市ブロッコリー部会の樋口泰斗部長の協力で試験栽培しています。10aの畑を試験区と慣行区に分け、ブロッコリーを栽培。結果を分析して、有効性や有利性を検証しています。

「機械でまきづらいのでは？」という声に、さっそく水分含量を確認。べとつきをなくし、扱いやすいように改善もし、機械でまけるようになりました。

樋口部長は「土が育つよい肥料です。微生物物が肥料を食べる工程があるため、長く使っていくと畑がよくなると思います」と手ごたえを感じています。

さがみ以外の実験でも、効果が示されています。ゆつくりと、効き目が長持ちすることが実証され、期待も高まっています。

綾瀬での実証結果は現在取りまとめている最中です。結果は広報誌でもお知らせしますから、どうぞご期待ください。